

ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals : MDGs)

2000 年 9 月に国連ミレニアム・サミットで採択された国連ミレニアム宣言と、1990 年代の主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、一つの共通の枠組みとしてまとめられたもの。

目標とターゲット

ゴール 1：極度の貧困と飢餓の撲滅

➤ ターゲット 1

2015 年までに 1 日 1 ドル未満で生活する人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。

➤ ターゲット 2

2015 年までに飢餓に苦しむ人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。

ゴール 2：初等教育の完全普及の達成

➤ ターゲット 3

2015 年までに、全ての子どもが男女の区別なく初等教育の全課程を修了できるようにする。

ゴール 3：ジェンダー平等推進と女性の地位向上

➤ ターゲット 4

可能な限り 2005 年までに、初等・中等教育における男女格差を解消し、2015 年までに全ての教育レベルにおける男女格差を解消する。

ゴール 4：乳幼児死亡率の削減

➤ ターゲット 5

2015 年までに 5 歳児未満の死亡率を 1990 年の水準の 3 分の 1 に削減する。

ゴール 5：妊産婦の健康の改善

➤ ターゲット 6

2015 年までに妊産婦の死亡率を 1990 年の水準の 4 分の 1 に削減する。

ゴール 6：HIV／エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止

➤ ターゲット 7

HIV／エイズの蔓延を 2015 年までに食い止め、その後減少させる。

➤ ターゲット 8

マラリア及びその他の主要な疾病の発生を 2015 年までに食い止め、その後発生率を減少させる。

ゴール7：環境の持続可能性確保

➤ ターゲット 9

持続可能な開発の原則を国家政策及びプログラムに反映させ、環境資源の損失を減少させる。

➤ ターゲット 10

2015 年までに、安全な飲料水及び衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する。

➤ ターゲット 11

2020 年までに、少なくとも 1 億人のスラム居住者の生活を大幅に改善する。

ゴール8：開発のためのグローバルなパートナーシップの推進

➤ ターゲット 12

さらに開放的で、ルールに基づく、予測可能でかつ差別的でない貿易及び金融システムを構築する。

（良い統治、開発及び貧困削減を国内的及び国際的に公約することを含む。）

➤ ターゲット 13

後発開発途上国の特別なニーズに取り組む。

（（1）後発開発途上国からの輸入品に対する無税・無枠、（2）重債務貧困国（HIPC）に対する債務救済及び二国間債務の帳消しのための拡大プログラム、（3）貧困削減にコミットしている国に対するより寛大な ODA の供与を含む。）

➤ ターゲット 14

内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国の特別なニーズに取り組む。（バルバドス・プログラム及び第 22 回国連総会特別会合の規定に基づき）

➤ ターゲット 15

債務を長期的に持続可能なものとするために、国内及び国際的措置を通じて開発途上国の債務問題に包括的に取り組む。

➤ ターゲット 16

開発途上国と協力し、適切で生産的な仕事を若者に提供するための戦略を策定・実施する。

➤ ターゲット 17

製薬会社と協力して、開発途上国において人々が安価で必要不可欠な医薬品を入手できるようにする。

➤ ターゲット 18

民間部門と協力して、特に情報・通信における新技術による利益が得られるようにする。

以 上